

令和5年9月28日

ふるさと納税に人間国宝の作品 4 点を出品

— 燕が誇る鋳起銅器の匠 たまがわのりお 玉川宣夫氏 もくめがね の木目金花瓶などが加わります —

燕市では、重要無形文化財保持者（人間国宝）である玉川宣夫氏の作品を、ふるさと納税の返礼品に加えます。

玉川宣夫氏は金属の色の違いを利用して木目模様を創り出す金属加工技術「木目金」もくめがねの世界第一人者として知られており、その技術を用いた花瓶 2 点など、計 4 点が 9 月 28 日から申し込み可能になります。世界が認める玉川宣夫作品を、ふるさと納税を通じてお届けし、燕のものづくりの魅力を伝えます。

【玉川宣夫作返礼品の概要】

1. 申込開始：9月28日(木) 午後3時から
2. 申込可能サイト：楽天ふるさと納税
3. 返礼品・寄附額：



▲楽天ふるさと納税サイト



「木目金 花瓶」
11,500,000 円



「木目金 花瓶」
8,250,000 円



「口打出 湯沸」
2,250,000 円



「銅 香炉」
1,590,000 円

※玉川 宣夫

1942 年新潟県生まれ。13 歳で〈玉川堂〉5 代目玉川寛平の養子となり、1959 年に秋田市立工芸学校を卒業して玉川堂に入社する。

その後、1963 年に上京し鍛金家・関谷四郎の内弟子として学ぶ。1982 年「木目金花瓶」で日本伝統工芸展 NHK 会長賞。2010 年重要無形文化財「鍛金」保持者(人間国宝)に認定、また燕市名誉市民にもなっている。



「木目金」

今から約 400 年前の江戸時代初期に生まれた、色彩の異なる金属を 20～30 枚ほど重ね合わせ色の違いを利用して木目模様を作り出す金属加工の技術。

「口打出」

一枚の銅板から注ぎ口まで継ぎ目なく打ち出す技術。

「子育てするなら燕市で」



には理由がある。

本件についてのお問い合わせ先

総務部 総務課：近藤

電話：0256-77-8301（直通）